

紹介 信州産学官連携機構の発足と地域ブランド・オフィス

林 靖人

1. 「信州産学官連携機構」の発足と地域ブランド創出への取り組み強化

2008年8月7日、「信州産学官連携機構」(Shinshu Innovation System: SIS)が発足いたしました。この機構は、信州大学が世話役となり、長野県内にある大学・短期大学・高等専門学校等19校が連携してネットワーク構築を図り、産業界、国、地方自治体、公設試験場、金融機関等との産学官連携の推進・強化と地域振興及びイノベーション創出に貢献することを目的としています。¹⁾

SISの活動は、これまで信州大学を中心に産学官連携の実績を積ん

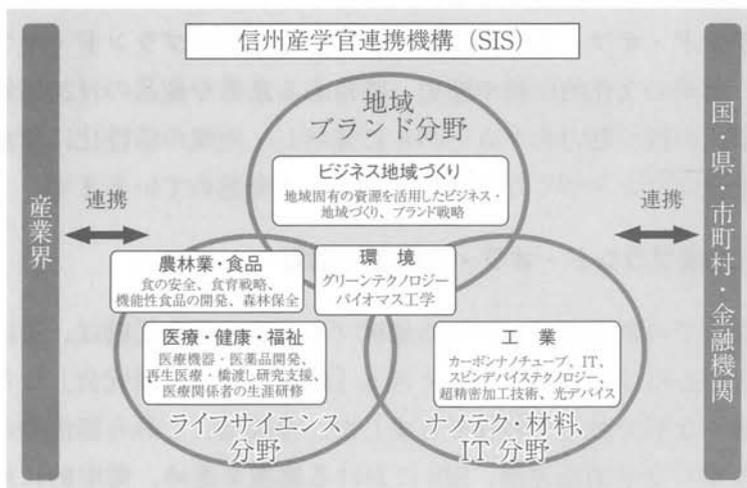


図1. 信州産学官連携機構の活動イメージ

できた「ナノテク・材料、IT」「ライフサイエンス」に加え、新たに「地域ブランド」分野を加えた3分野に重点を置いている点に特徴があります(図1)。

超少子高齢化社会の到来、地域コミュニティの崩壊、地方自治体の緊縮財政など地域の存続は今までにない苦しい状況に立たされています。このような中、地域コミュニティの連携を深め、地域の活力創造に結び付けることができる地域ブランドには大きな注目が集まっています。そしてこの地域ブランドの確立と発信における知的貢献の担い手として大学に対する期待も高まっているのです。信州大学では、人文学部を中心に全国的にも早い段階から信州の特色に立脚した地域ブランドの研究に着手しており、このたびSISの発足にともない新たな学問領域として位置づけを明確にし、実践的研究に本格的に取り組むこととなりました。

このような背景を受け、信州大学では、信州大学産学官連携推進本部(Shinshu University Industrial Liason Office : SILO)に、地域ブランド分野を担う存在として、新たに分野長を含む4名からなる「地域ブランド・オフィス」が設置されました。地域ブランド・オフィスでは、信州の文化的伝統や歴史、特色ある産業や製品の付加価値を高め、信州の持つ魅力をグローバルに発信し、地域の活性化に繋がるような地域ブランドづくりの研究・開発支援を進めていきます。

2. 地域ブランド・オフィスの主な活動

これまでの信州大学における地域ブランド分野の活動は、主に人文学部を中心に「地域連携オフィス」、「地域ブランド研究会」などを通じて様々な形でおこなわれてきました。今後は、これら諸活動とも協力しながら全学的な連携、SISにおける連携を進め、効率的に地域ブランドづくりの研究・開発支援をおこなっていきます。活動の主な柱

は以下の4つになります。

2.1. 地域の固有資源を活用したブランド「創出」を支援します

信州・長野県は地勢、文化・風土的にも日本国内の他の地域と異なる部分が多く、そのため非常にユニークな地域資源が数多く存在しています。しかし、地域の人々は身近過ぎて気づかず、埋もれてしまっている資源もたくさんあると思われます。地域ブランド・オフィスでは、信州大学内の各種活動やSISとの連携を強化し、幅広い知的リソースを活用しながら、地域の自然資源、農業や工業などの産業資源、伝統工芸や文化資源などの新しい活用方法の提案、あるいは既存資源を組み合わせたり、新たなアイデアを盛り込んだ新製品開発の支援をいたします。これら活動を通じて、市場を占有できるような強い競争力を持ったブランド創出につなげていきます。

2.2. 地域ブランド戦略の策定を支援します

地域ブランドの構築には、住民の方々が自らの地域に愛着を持ち、ブランドの価値を理解し、ともにブランド構築に取り組むことができる環境を構築することが必要です。しかし、そのためには多くの利害関係者との合意形成が必要であり、地域全体を動かすためには地域の計画として位置づけ、推進することも必要になります。地域ブランド・オフィスでは、効率的・効果的に地域ブランド構築を進めるための各種調査の実施や、具体的な目標や役割分担、アクション等を定めた地域ブランド戦略の策定を支援します。

2.3. 地域ブランドの情報発信と担い手育成（学習・教育）を支援します

「地域を元気にしたい、何とかしたい」と強く思える人、行動でき

る人が地域ブランド構築において成功のカギを握ることになります。しかし、同時に製品開発プロセスやブランドの核となる体制づくりやプロモーション方法についても十分に把握し取り組むことが必要です。地域ブランド・オフィスでは、SISのネットワークを通じて事例等の共有を進め、調査報告や研修会、フォーラム等を通じて、地域ブランドづくりに関わる人々への情報発信、学習・研究活動に関する情報提供などを進めています。

2.4. 地域ブランド学の構築（地域ブランドの研究）をおこないます

地域ブランド構築および地域活性化のための諸活動について、SISのネットワークを通じ、各種取り組み事例や調査結果等の情報を共有し、成功・失敗等に繋がる要因の分析・研究活動をおこないます。また、積極的に地域ブランドや地域連携・地域振興に関わるテーマについて科学研究費や助成金などに応募したり、地域や企業、自治体と共同研究を進めながらノウハウやデータの蓄積をおこないます。これら研究結果については、地域ブランド構築理論として形式化・体系化をおこない、関連学会での報告等をおこないながら「地域ブランド学」の構築につなげていきます。

3. 地域ブランド・オフィスの組織体制

地域ブランド・オフィスは、2008年8月に中嶋聞多教授を分野長として、コーディネータ、研究員、研究支援スタッフの4人態勢で発足いたしました。地域ブランド・オフィスは、これまでの地域ブランド研究の中心となってきた人文学部に配置されています。ただし、組織としては「信州大学 産学連携推進本部 (SILO)」に所属しています。ここを拠点・窓口として、地域ブランドを中心とした信州全体の地域活性化のための様々な取り組みに関わっていきます。

4. 地域ブランド・オフィスの今後の活動予定

今日、地域の活性化は、国や地方自治体の重要なテーマとなっており、地域ブランドの構築はその有効策の一つとして近年、注目を浴びています。しかし、地域ブランドの構築はさまざまな主体が複雑に関与するだけでなく、テーマによって研究領域横断的、学際的に取り組む必要がある裾の広い分野です。そのため産・官・学・民の連携とネットワーク構築がなくては、実現できません。

このたび、SISが発足したことにより、そのネットワークを通じて各校の産学連携により開発された技術や地域貢献の取り組み等のノウハウを共有することが可能になりました。これは、信州大学でこれまで取り組んできた地域ブランド構築の取り組みに広がりを与え、さらなる知的資源の産出やイノベーション創出が可能になると考えられます。地域ブランドとは、「地域の有するさまざまな資源を有効に活用しながら、地域独自の価値を創出する活動」です。地域ブランド・オフィスでは、その活動自身も一つの信州のブランドとなるよう様々な事業展開をおこなっていきたいと考えております。

最後になりましたが、地域ブランド・オフィスはこれから本格的に始動していきます。その活動に期待をしていただく一方で、活動成果をより一層実りあるものにするためにも皆様のご協力・ご助力をよろしくお願い申し上げます。

「問い合わせ先」

信州大学 産学官連携推進本部 地域ブランド分野

地域ブランド・オフィス

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 (人文学部内)

TEL : 0263-37-2075 FAX : 0263-37-2076

Mail : branding@shinshu-u.ac.jp

【注】

1) 本事業は文部科学省の産学官連携戦略展開事業として採択されています。

【参考資料】

- 信州大学産学連携推進本部 知の貢献 学術研究／産学官連携／地域貢献ガイド
- 地域ブランド・オフィス紹介パンフレット
- 信州産学官連携機構ホームページ <http://www.sis2008.jp/index.html>

(受稿日 2008.10.16 掲載決定日 2008.11.12)

(はやし・やすと／地域ブランド・オフィス)